

2024年車内事故（乗合）

1. 個別事案の概要

【発生類型】	【車両態様】	【運転者等の確認状況等】※停留所発車時のみ選択
着座：座席等に着座していたもの	停留所発車時：停留所からの発車時（乗降扱いを伴うものに限る）	乗車した旅客の着座前発車（乗客が着座前に発車したもの）又は、つり革等把持前発車（つり革等に掴まる前に発車したもの）に起因する場合に●を附す。
つり革等把持：つり革等に掴まった状態で立っていたもの	発進時：停車状態からの発進時（停留所発車時を除く）	
不安定姿勢：つり革等に掴まっていない状態、座ろうと又は立とうとしていたもの、不意に乗客が移動したものの	走行中：カーブ、車線変更、踏切通過など	
	制動時：停車のための減速、急ブレーキなど	
	変速時：変速操作時の揺動など	
	扉開閉時：運転者による扉の開閉操作時など	

	発生日時	乗客の状況	車両態様	運転者の確認状況等	概要	定員	当時の人員	管轄支局
1	1月7日 10:31頃	不安定姿勢	制動時	—	第一通行帯を走行中、第二通行帯後方から走行してきた乗用車が当該車両前方に進路変更した後、先の交差点で左折しようとしたが、横断歩道手前に歩行者がいたことから停車したためブレーキをかけたところ、車内を移動していた乗客が転倒した。当該乗客は当初手すりに掴まっていたものの、優先席を譲られたことから、掴まっていた手すりを離し移動したタイミングとブレーキをかけたタイミングが重なったため、バランスを崩し転倒した。この事故により乗客が大腿骨骨折の重傷を負った。	73	30	東京
2	1月8日 15:35頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所において運行を開始しようとする前扉を開めたところ、周囲のバスに気をとられ安全確認を怠ったため乗車しようとした乗客が閉まる扉にはじかれ、車外に転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	71	12	神奈川
3	2月11日 13:10頃	不安定姿勢	その他	—	バス停留所で車いす利用者を一旦中扉から乗車させた後、運転席に戻り駐車ブレーキを解除し他の乗客の乗車対応していたところ、車いすの介助人よりベルトの固定を依頼されたため運転席を離席した結果、直後にバスが空走を始め、即座に運転席脇に戻り駐車ブレーキを掛けバスを停車させたが、その反動により車いす利用者及び介助人がバランスを崩し転倒した。この事故により介助人(50歳代)が重傷を負った。	74	21	東京
4	2月14日 7:45頃	不安定姿勢	制動時	—	前方を走行していた原動機付自転車が対向車線側の駐車場に右折進入するため停車したことに気付くのが遅れ、衝突回避のため急ブレーキをかけたところ、一人掛け座席の手摺り部に腹部でもたれ掛かる状態で立っていた乗客が反動により一つ前の座席手摺り部に腹部を強打した。この事故により乗客が軽傷を負った。	37	24	埼玉
5	2月14日 12:05頃	不安定姿勢	停留所発車時	—	降車扱い後、車内にいた乗客が運転者に話しかけようと席を立ち上がり運転席に近づこうとしたところ、交差点も近かったこともあり、車内の状況を確認せずに発車したため、発車時の揺動により当該乗客が転倒した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。※路線バスデマンド運行	10	2	栃木
6	3月7日 13:43頃	不安定姿勢	走行中	—	バス停留所手前の横断歩道が赤信号であったため停車寸前まで減速したが完全停止前に青信号に変わったことから再加速したところ、バス停留所に停車するものと思い込み座席から立ち上がった乗客が揺動でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名が後部座席ステップに身体を打ち付け重傷を負った。	71	11	千葉
7	3月7日 18:50頃	不安定姿勢	制動時	—	車椅子利用者の乗車のため、一旦停車した後に車両の位置をずらしていたところ、車椅子利用者の乗車を知った優先席の乗客が車内後方座席に移動を開始し、その際に車椅子スペースの座席に着座していた乗客に対して、移動を促した結果、車椅子スペースにいた乗客が席を移動したタイミングとブレーキが重なり、その揺動で転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が重傷を負った。	78	15	神奈川
8	3月20日 16:32頃	不安定姿勢	停留所発車時	—	降車扱い後の発車時、中扉対面の一人掛け席に着座していた乗客が中扉が閉まりきる直前に立ち上がり、車内左側の優先席に向かって移動を開始した。運転者はこれに気付かず発進動作を開始したことから、バスの揺動により乗客はバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	72	15	東京
9	3月28日 17:17頃	不安定姿勢	走行中	—	第二通行帯に車線変更をした際、つり革から手を離していた乗客が車両の揺動により転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が重傷を負った。	78	24	神奈川
10	3月28日 18:13頃	不安定姿勢	停留所発車時	●	バス停留所での発車時の揺動により当該バス停留所で乗車した乗客が転倒した。当該乗客は一度手摺りに掴まった後、改めて後方へ移動を開始しており、運転者はアナウンスをした後、車内ミラーで乗客の手が手摺りに伸びていることを確認したので、手摺りに掴まったと判断し発車していた。この事故により乗客1名が軽傷を負った。	76	30	東京
11	4月4日 20:46頃	つり革等把持	制動時	—	横断歩道に差し掛かった際、対向車のライトにより横断している歩行者に気付くのが遅れ急ブレーキをかけたところ、手摺りに掴まった状態で立っていた乗客が身体を支えきれずに転倒した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。	60	18	埼玉
12	4月11日 18:50頃	不安定姿勢	制動時	—	バス停留所に停車するために減速したところ、当該バス停留所で降車するために座席から立ち上がった乗客が停車時の揺動により転倒した。この事故により乗客1名が上腕骨骨折の重傷を負った。	78	40	東京
13	4月13日 9:42頃	不安定姿勢	制動時	—	前方の信号が赤に変わり、前車のバイクが停止した認識はあったがブレーキ操作のタイミングが遅れたため強めの制動となり、その揺動で右側3番目の座席付近に立って乗車していた乗客が前扉方向に投げ出され転倒した。この事故により乗客1名(30歳代)が軽傷を負った。	78	19	東京
14	4月19日 12:09頃	不安定姿勢	停留所発車時	●	バス停留所で乗客1名が乗車した際、着座完了確認と車内マイクによる注意喚起を怠り発車させた為、座席に着座しようとした乗客がバランスを崩し転倒した。この事故により、乗客1名(80歳代)が腰部打撲、両臀部打撲、両肘打撲、左手関節捻挫、左頬部打撲、左足打撲の負傷を負った。	79	12	神奈川

15	4月28日 17:17頃	不安定姿勢	変速時	—	バス停留所付近において、店舗に入るために左ウinkerを出して停車している車両を確認し、およそ6m程まで減速しながら接近したところで前車が店舗へと左折した。バス停留所まで15m程距離があり、わずかに勾配がある箇所であったことから緩やかにアクセルをあげたところ、車内後方で立ち上がった乗客が転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が大腿骨骨折の重傷を負った。	77	35	神奈川
16	5月1日 17:23頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所で乗客が降車する際、誤って扉を閉めてしまい、乗客が扉に押されるかたちで歩道に転倒した。当該運転者は扉開閉時、いつもレバーに手が触れられていたため、車外の状態に気を取られ誤操作が発生したもの。この事故により乗客1名(60歳代)が軽傷を負った。	51	1	群馬
17	5月4日 10:51頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所での客扱い時、乗客の乗車が完了したことは確認したが、降車する乗客の確認を怠ってしまい、前後の扉を同時に閉めた結果、前扉から降車しようとしていた乗客が手摺りを掴んでいたため扉に挟まれた。この事故により乗客1名(90歳代)が前腕部骨折の重傷を負った。	71	8	千葉
18	5月9日 12:09頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	終点降車場所に到着し乗客1名が降車後、車内を確認しないまま扉を閉め発車したため、別途降車しようと前扉に向かって移動していた乗客が転倒した。この事故により乗客1名(90歳代)が重傷を負った。	74	2	神奈川
19	5月13日 15:58頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において乗客1名が乗車した際(空席有)、乗車証をタッチした直後に乗客の動向及び着座確認を怠り発車したため、発車の反動により仰向けに転倒した。この事故により乗客(80歳代)が後頭部を負傷した。	78	7	神奈川
20	5月13日 21:58頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所で前扉を閉める際、安全確認を怠ったため、乗車した直後の乗客の左肩から掛けているショルダーバックに前扉が接触した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。	78	23	神奈川
21	5月14日 13:35頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において、1名降車扱い後乗客が手摺りに掴まりながら乗車、移動していたが、当該運転者は手摺りに掴まり立ち止まったものと認識し発進した。発進後車内の様子を確認したところ、当該乗客が後方まで移動を継続しており、手摺りから手が離れているのを認め減速したところ、その揺動により乗客が転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が前腕骨折の重傷を負った。	72	21	神奈川
22	5月15日 10:00頃	つり革等把持	制動時	—	自動車専用道から出口に向け運行中、約14km/hまで減速してETCゲートに近づいた際、バーは閉じていたが「開くだろう」と安易にアクセル操作しかけたところ、バーが開かなかったため急ブレーキをかけた。バーには衝突しなかったものの、急停車の揺動により前扉後1番目座席の手摺りを左手で握り立っていた乗客が前方に投げ出され運賃箱に衝突した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。	76	33	神奈川
23	5月15日 10:05頃	不安定姿勢	発進時	—	交差点にて信号待ちのため停止後に車内確認及び発車アナウンスをせずに発進したところ、車内右側2番目に着席していた乗客が移動しようと席を立つタイミングと重なり、当該乗客が発進の揺動で後ろに転倒した。この事故により乗客が左橈骨遠位端骨折の重傷を負った。	36	3	茨城
24	5月16日 14:55頃	不安定姿勢	発進時	—	前を走るバスが乗降扱いのためバス停留所に停車したためそれに続き停車した。前車が乗降扱いを完了し発車したためバス停留所に正着させようと発進したところ、停車した際に立ち上がった乗客がバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が重傷を負った。	74	13	東京
25	5月30日 11:40頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所での乗降対応時、バス停留所にいた3名の乗客のうち、最後に乗車しようとした乗客について乗車の意思がないものと思い込み、中扉を車内ミラーで確認しながら前扉及び中扉を同時に閉めたところ、前扉から乗車途中であった当該乗客に閉まる扉が接触し、乗客が歩道側に数歩後ずさったうえバランスを崩し転倒した。この事故により乗客(80歳代)が重傷を負った。	57	20	東京
26	6月10日 19:02頃	不安定姿勢	制動時	—	バス停留所に停車する際、停車直前に立ち上がった乗客が停車時の揺動でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	78	10	埼玉
27	6月13日 15:35頃	不安定姿勢	発進時	—	バス停留所手前の横断歩道にて一旦停止後、発車の際「動きます」と案内して発車した際、停車中に優先席から立ち上がった乗客が後方に転倒した。この事故により乗客1名が大腿骨骨折の重傷を負った。	78	11	千葉
28	6月14日 20:54頃	不安定姿勢	発進時	—	乗客27人を乗せ運行中(空席なし、立客7名)、バス停留所手前の登坂で対向車のバスをやり過ごすため停車、その後すぐ発車したところ(アナウンスなし)、その揺動により立っている乗客が燃料タンクカバーに腰を衝突させた。この事故により、乗客1名が頸椎ねん挫、腰部捻挫の軽傷を負った。	79	28	神奈川
29	6月17日 17:06頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所から乗車した乗客が車内を移動中に車内の確認やマイク案内をせずに運行を開始し、すぐ先の交差点にて信号が黄色信号に変わったためブレーキをかけたところ、移動中の乗客が後退し始めそのまま後向きに転倒した。この事故により、乗客1名(80歳代)が腰椎捻挫、腰部打撲の軽傷を負った。	78	29	神奈川
30	7月10日 12:35頃	乗降	扉開閉時	—	乗客が乗車するため中扉を開けたが、行き先表示・バス停留所案内放送等が間違っていたことに気付いたため中扉を閉めたところ、乗車しようと左足を乗せた乗客と接触した。この事故により、乗客が軽傷を負った。	72	1	神奈川
31	7月16日 6:13頃	不安定姿勢	制動時	—	片側3車線の第二通行帯を走行中、第一通行帯を走行していた「タクシー」が、交差点先で停車していた貨物車を避けるために加速し当該バスを追い抜き、第二通行帯へと急な進路変更を行おうとしたため、接触を回避しようと速度を(25キロから6キロ)落とし、その後停車した。その際、次のバス停留所で降車予定の乗客が、降車前に車内のお手洗いをを使用するため座席を立ち通路を歩き始めたタイミングと重なり、車内通路でバランスを崩し転倒した。この事故により、乗客1名が右足大腿骨骨折の重傷を負った。	29	17	千葉

32	7月22日 10:15頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において乗客5名を乗車扱い後、着席しようとしていた乗客に気付かず発車したところ、発車の揺動により乗客1名が転倒した。この事故により乗客が左脚大腿骨頸部(付け根)骨折、左胸肋骨あばら骨5～8番骨折の重傷を負った。	73	11	東京
33	7月26日 16:39頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	バス停留所を発車する際、乗客が発車の車内動揺でよろけたため、減速した。当該運転者は、当該乗客が手すりに掴まったことを確認したことから、掴まるようマイクで促し再発進したところ、当該乗客が後方に歩き出し車内動揺でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	77	25	東京
34	7月30日 17:03頃	不安定姿勢	走行中	—	踏切を通過する際、踏切の段差で車体が揺れその反動で車いす利用の乗客がバランスを崩し転倒した。当該運転者は当該車椅子利用者に対して固定ベルトを装着しようとしたが、装着を断られたことから、手摺りにしっかり掴まるように依頼していたが、当該車椅子利用者は踏切を渡る時に手摺から手を外し、手荷物を触っていたためバランスを崩してしまい転倒した模様。この事故により乗客(30歳代)が重傷を負った。	36	2	埼玉
35	8月1日 9:47頃	不安定姿勢	制動時	—	バス停留所に停車した際、停車直前に前方に移動しようとした乗客が手摺りから手を離していたため、停車時の揺り戻しによりバランスを崩して後方に転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	76	21	神奈川
36	8月1日 14:03頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において、乗車した乗客が座っただろうと思い込み乗客の動向を確認しないまま発進をしたため、進行方向右側後方一人掛けの席に座ろうとしていた乗客が発進の揺動により転倒した。この事故により乗客が重傷を負った。	70	9	東京
37	8月8日 8:01頃	着座	制動時	—	乗客12名を乗せ運行中、渋滞していた対向車線の車の間から、当該バスの前方に急に車両が飛び出してきたため、急ブレーキを掛けたところ、座席に座っていた乗客2名が座席等に衝突した。この事故により乗客2名が軽傷を負った。	27	13	千葉
38	8月30日 8:43頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において乗降案内後発車しようとしたところ、乗客1名が遅れて乗車しようとした為、前扉を開け乗車扱いをした。その後、当該乗客が車内を移動中に発車した為、中扉付近で転倒した。この事故により乗客(60歳代)が右上腕骨骨頭骨折及び右大腿骨骨頭骨折の重傷を負った。	78	12	東京
39	9月5日 8:41頃	乗降	扉開閉時	—	バス停留所において乗降扱い後、後方より少し遅れて乗車しようとした乗客に気付かず閉扉操作を行ったため、扉が接触し、当該乗客が歩道側に転倒した。この事故により乗客が重傷を負った。	76	33	東京
40	9月10日 16:07頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	指導運転士と共に運行中、バス停留所で乗客2名の降車扱い後、他に降車する乗客がいないものと思い込み、ミラー確認をせず発進しかけたところ、後部座席より降車しようとしていた乗客が2名おり、「降ります」と声をかけられた事で気づき、ブレーキを踏んだことにより内1名がバランスを崩し転倒した。この事故により乗客が右上腕骨顆上骨折の重傷を負った。	78	7	東京
41	9月13日 18:42頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所で乗客3名の乗車扱い後、発車した。その際、乗客が跳上り式になっている座席に座ろうと左手を座面にかけたタイミングで発車が重なったため、発車の揺動でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	78	23	東京
42	9月19日 11:10頃	不安定姿勢	制動時	—	バス停留所に到着し停車した際、扉付近に座っていた乗客が停車と同時に立ち上がったためバランスを崩し、しりもちを着く様に転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が右大腿骨けい部骨折の重傷を負った。	29	2	東京
43	10月9日 19:00頃	乗降	扉開閉時	—	始発バス停留所での乗車扱い時(前扉乗車)、発車時刻となったため、対応していた乗客が車内に入っていくことを確認して前扉を閉扉したところ、同乗客の死角で前扉ステップ部に左足を乗せていた乗客を見落とし、前扉で車外へ押し出すような形で転倒させた。この事故により乗客(40歳代)が左仙骨骨折及び頭部打撲の重傷を負った。	74	19	東京
44	10月12日 10:23頃	つり革等把持	制動時	—	乗客29人(立客3人空席なし)を乗せ運行中、当該バスが片側二車線の道路の第一通行帯を約45km/hで走行していたところ、第二車通行帯を走行していた原付バイクが先の交差点を左折するために急に車線を変更してきたため、バスが急ブレーキをかけたことから立客2名が前方に転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が仙骨骨折の重傷、乗客1名(30歳代)が軽傷を負った。なお、急ブレーキ時、当該立客は両手で掴まっている状態であった。	74	29	神奈川
45	10月12日 14:17頃	不安定姿勢	発進時	—	乗客27名を乗せ運行中、バス停留所手前の交差点で停車した。停車時に車内全員の着座を確認したが、その後、信号待ち中に乗客1名が最後部中央の席から中扉先の一人掛け席に移動を開始した。信号が青になり、「発車します」のアナウンスをせずに発車したところ、当該乗客がバランスを崩し転倒した。この事故により乗客(80歳代)が腰椎圧迫骨折の重傷を負った。	75	28	千葉
46	10月17日 17:02頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	バス停留所にて乗車乗客扱い後、車内立客が手摺やつり革に掴まっていることを確認したので、指差呼称による安全確認後(車内・左後方・直前直下・右後方)、「発車します。お掴まりください。」と車内アナウンスを行い発車したところ、立客が他の乗客から席を譲られ手摺りから手を離れたタイミングと重なり転倒した。この事故により乗客(70歳代)が腰椎骨折の重傷を負った。	78	22	神奈川
47	10月21日 12:49頃	不安定姿勢	制動時	—	当該バスが前方にいた車両①及び車両②に続き片側2車線道路の第一通行帯を走行中、車両①がスクランブル式交差点に差し掛かろうとした時、当該信号が青→黄→赤になると同時に直進可矢印が点灯し直進可が継続されたが、車両①が停止信号と勘違いして急停止し、それに続いて車両②も急停止した。前方車両の急停止を受け、当該バスも強めの制動となり、車内前方で両手とも手摺り等に掴まっていなかった立客①がバランスを崩してよろけ、その隣前方にいた立客②に寄りかかるように倒れ込み、立客②はつり革から手が離れてしまい、立客①と一緒に前方に転倒した。この事故により立客①には怪我はなかったが、立客②が軽傷を負った。	77	17	東京
48	10月24日 10:48頃	着座	制動時	—	信号機のない交差点において、右方向から一時停止の標識を無視した車両が進路上に進入してきたため、衝突を回避するため急ブレーキを掛けたところ、車両との衝突は回避できたものの、複数の乗客が前の座席に上体を衝突させるなど負傷した。この事故により乗客1名が重傷、乗客3名が軽傷を負った。	28	16	神奈川
49	10月25日 9:34頃	不安定姿勢	制動時	—	バス停留所に停車する際、降車予定の乗客が停車する前に立ち上がったため、停車する際の揺動により転倒した。この事故により乗客1名が重傷を負った。	74	30	東京

50	10月25日 15:36頃	つり革等把持	停留所 発車時	—	バス停留所において降車客1名、乗車客2名の乗降扱いを終え、発車の案内を行いバスを発車させたところ、乗車客2名のうち先に乗車した杖を突いた乗客が座席に備付けの手摺りに掴まっていたが、バスの発車の揺動により手摺りから手が離れてしまい転倒した。この事故により乗客(70歳代)が重傷を負った。	77	21	神奈川
51	10月26日 13:25頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所にて乗車した乗客がまだ車内後方へ向けて移動しているにも関わらず、車内確認及び発車案内をせず発車した。発進後、前車が赤信号で停車したため、当該バスも追従しブレーキを緩く踏んで停車したところ、最後方の座席に向かって移動中であった当該乗客がブレーキの揺動でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客が重傷を負った。	74	15	東京
52	10月26日 16:09頃	その他	制動時	—	右折専用レーンがある交差点において、前車に続いて右折しようとしたところ、黄色信号により前車が停車したことに気付くのが遅れ強めの制動をかけ停車した。その際、中扉付近の立客①が制動の反動で転倒し、優先席付近につり革に掴まっていた立客②の足下に衝突した。この事故により乗客1名(立客②70歳代)が両足首骨折の重傷を負った。	77	22	東京
53	11月1日 7:02頃	その他	制動時	—	乗客36名(空席無、立客8名)を乗せ運行中、青信号を発車(発車案内、カーブが続く旨の注意喚起実施)した後、対向車線信号待ちの車両後方の路地から飛び出してきた車両との接触を避けるため急ブレーキをかけたところ、車両との接触は避けられたが急ブレーキの反動により乗客8名が軽傷を負った。	74	36	神奈川
54	11月25日 16:14頃	不安定姿勢	停留所 発車時	●	バス停留所において、乗車した乗客の着座確認をせずに発車したところ、当該乗客が車内中ほどステップを登り切った付近で変速による揺動に転倒した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。	78	25	東京
55	12月8日 15:07頃	不安定姿勢	制動時	—	終点のバス停留所に停車する際、当該運転者が「止まるまでお待ちください」とマイクで注意喚起のアナウンスを2回行ったが、停車直前に乗客1名が立ち上がり、ブレーキの揺動で転倒した。この事故により乗客(80歳代)が左大腿骨頸部骨折の重傷を負った。	74	10	神奈川
56	12月12日 8:40頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	バス停留所にて前扉より乗客1名が降車した後、他に降車客がいない事を確認して前扉の開扉操作を行っていたところ、中扉付近にいた立客が車内前方へ移動を開始した。当該運転者はこれに気が付かず、車両の周囲を確認しながら発車したことから、当該乗客がバランスを崩し車内中扉付近の手摺り棒に身体を打ち付けた。この事故により乗客1名(80歳代)が肋骨骨折の重傷を負った。	74	32	埼玉
57	12月14日 9:51頃	その他	制動時	—	交差点を直進しようとした際、直前を走行していた車両が当該交差点を左折するために一時停止したことに気付くのが遅れ、追突を避けるため、急ブレーキを掛けたところ、乗客が転倒し負傷した。この事故により乗客1名(40歳代)が腰椎圧迫骨折の重傷、乗客2名(10歳代、50歳代)が軽傷を負った。	74	32	神奈川
58	12月17日 16:50頃	不安定姿勢	停留所 発車時	—	バス停にて降車扱い後、車内確認不足及び車内事故防止アナウンスを怠り発車したところ、立客が発車の揺動でバランスを崩し転倒した。この事故により乗客1名(80歳代)が左肘骨折の重傷を負った。	56	2	埼玉